

朗読とピアノで綴る
三浦綾子『塩狩峠』と
その後の物語

朗読
中村啓子

ピアノ
菅野万利子

トーク
森下辰衛



絵: 井上達夫

ふじ子から
天国の永野信夫への手紙

雪柳

森下辰衛作

日時: 2018年9月15日(土)

14:00 - 15:30 (13:30開場)

会場: 宣教教会 (日本福音キリスト教会連合)
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷4-24-23

入場料: 1,000円 (申込不要、当日会場にて)

問合せ: 09020585978

luc2342@ezweb.ne.jp (森下)

主催: 三浦綾子読書会



『塩狩峠』の主人公永野信夫の恋人であったヒロインふじ子が信夫との思い出を回想し、その後の物語と信夫への思いを綴った手紙という形式で書かれた新作短篇小说。

三浦綾子研究者森下辰衛が『塩狩峠』の読解と
実在のモデル長野政雄についての検証をベースに、
フィクションも交えながら構成した、天国への希望に満ちた感動の物語。

最高の朗読者中村啓子とユーオーディアのピアニスト菅野万利子の
コラボレーションによる初演です。

ピアノ曲は名曲と共に菅野万利子の新作を予定。



中村啓子（朗読） *Keiko Nakamura*

三浦綾子読書会 朗読部門講師。「おかけになった電話は…」などNTTドコモ留守電サービス、時報、番号案内、東京モノレール車内案内、TBSTV「なかい君の学スイッチ」ナレーション等、身近な声の主。

2008年、日本オーディオ協会より第13回「音の匠」の顕彰を受ける。朗読CD「塩狩峠」「道ありき」「氷点」。

プロフェッショナルナレータースクールOKEIKO主宰。



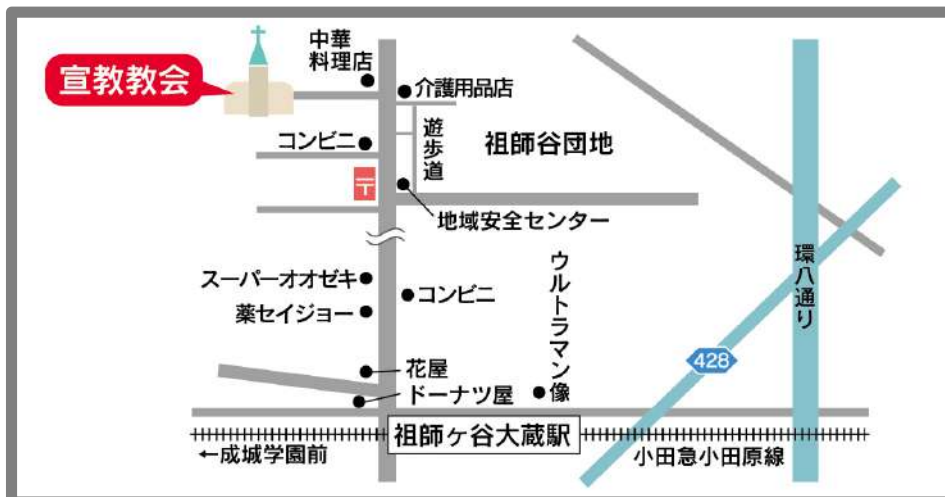
菅野万利子（ピアノ） *Mariko Kanno*

京都に生まれる。「日本音楽コンクール」入選、「文化放送音楽賞」受賞、「NHKオーディション」入選。相愛大学音楽学部卒業後、アメリカ・インディアナ大学音楽学部、ドイツ、ハンガリー、スウェーデンにて研鑽を積む。「大阪文化祭賞」「大阪市咲くやこの花賞」を受賞。相愛大学講師を経て、母の病気や結婚子育てを通して35歳でクリスチャンとなる。香港を経て現在は東京を拠点に活動。日本全国および海外へ心なごむトークや作曲家物語を交えたコンサートを展開し、ピアノにのせてキリストの愛と平和を伝えている。CD「Rejoice～喜びのおとずれ～」をリリース。ユーオーディア・アカデミー講師。



森下辰衛（トーク） *Tatsue Morishita*

1962年岡山県生まれ。1992年から2006年3月まで福岡女学院短大および大学で日本の近代文学やキリスト教文学などを講義。2001年より九州各地で三浦綾子読書会を主宰、2011年秋より同代表。2006年、家族とともに『氷点』の舞台見本林のある旭川市神楽に移住し、三浦綾子文学館特別研究員となる。2007年、教授の椅子を投げ捨て、福岡女学院大学を退職して以来、研究と共に日本中を駆け回りながら三浦綾子の心を伝える講演、読書会活動を行なっている。著書に『「氷点」解凍』（小学館）、編著監修に『三浦綾子366のことば』『水野源三精選詩集』（いずれも日本基督教団出版局）がある。NHKラジオ深夜便明日への言葉、テレビライフラインなどに出演。



宣教教会

（日本福音キリスト教会連合）
〒157-0072 東京都世田谷区
祖師ヶ谷4-24-23



Google マップ

小田急線祖師ヶ谷大蔵駅の改札を出て右のウルトラマン通りを直進約7分、中華料理店を左折すると正面に見えます。